

第3期 令和2~6年度

福井県教育振興基本計画

一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり
～子どもたちの「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進～



福井県教育委員会



計画の策定に当たって

この計画は、教育基本法に定める、本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

令和元（2019）年10月に策定した「教育に関する大綱」に掲げる「一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり」という基本理念のもと、教育行政の関係者はもとより、教育に関わるすべての人々が、福井の教育が目指す方向性を共有し、共に推進していくために策定するものです。

計画期間は、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間です。

基本理念

一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり ～子どもたちの「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進～

予測困難なこれから時代において、子どもたちが将来、夢や希望を実現し、地域の担い手として活躍していくためには、一人一人が個性を発揮して、自らの可能性に挑戦し、一人では解決が困難な課題についても、多様な人々と協働しながら乗り越えていく力が不可欠です。

こうした力を育てていくため、子ども自身の個性に気づかせ、伸ばしていく「**引き出す教育**」や、教員がすべてを教え込むのではなく、知的好奇心や探究心を持って、学びを自ら進んで「**楽しむ教育**」を進めています。

そのためには、教員が一人一人の子どもをよく理解し、明るく前向きな姿勢で共に学び続けることが重要です。もちろん、家庭や地域と連携・協働し、子どもたちの成長を社会全体で支えていくことや、そのために環境を整えることも必要です。

目指す人間像

本県では、今後目指す人間像を次のように考え、ふくいの風土に根付いた教育文化のよいところを継承しながら、実現に向けて取り組んでいきます。



重点的に推進する施策

「今後 5 年間に取り組む施策」のうち、特に重点的に推進する必要があるものを 4 つの「重点施策」として位置づけます。

子どもの主体性を大切にし、「個性を引き出す」教育の推進

子どもの個性を最大限に伸ばすことができるよう、一人一人の興味関心に応じた学びや、文化・スポーツ等多様な分野で本物や一流に触れる機会を提供します。

具体的な取組み

- ・理数教育の推進（ふくい理数グランプリの開催等）
- ・高校生の留学支援の充実、グローバルキャンプの実施
- ・高校でチャレンジ精神や探究心等の「起業家精神」を育成
- ・特別支援学校におけるキャリア形成支援の充実（農業体験実習の拡大等）
- ・外国人生徒等の高校進学の促進
- ・大型楽器の購入など吹奏楽部を支援
- ・トップアスリートを目指す子どもに育成プログラムを提供
- など

子どもが知的好奇心や探究心を持ち、「学びを楽しむ」教育の推進

ICT環境の充実等により、子どもの意欲を喚起し、一人一人の能力や特性に応じた学びを提供します。

具体的な取組み

- ・県立学校にタブレット端末を整備し、一人一人の能力や特性に応じた学習や協働学習を推進
- ・ICT機器の活用等による体育の充実
- ・知的好奇心を刺激する授業や小学校のクラブ活動を支援
- ・「福井県子どもの読書活動推進計画」の推進（ジュニア司書の養成、推薦図書の選定 等）
- ・児童生徒を対象とした意識調査をもとに授業や学校行事を見直し「魅力ある学校づくり」を推進
- など

地域に貢献しようとする心を育む「ふるさと教育」の推進

ふるさとへの理解を深め、愛着を持ち、継承発展しようとする心を育成します。

具体的な取組み

- ・小・中学生がふるさと学習の成果を発表し、交流する「福井ふるさと教育フェスタ」の開催
- ・小・中学校の校外学習活動や放課後子どもクラブにおける体験活動の充実（嶺南と嶺北の交流）
- ・文化財の魅力を伝える出前授業の実施
- ・高校での企業の人材を活用したキャリア講座を開催
- など

上記の3つの重点施策を支える土台

「教職員が輝く」働き方改革の推進

教職員が生き生きと働くことができるよう、学校における働き方改革を進めるとともに、優れた人材を確保するための方策などを講じます。

具体的な取組み

- ・「福井県学校業務改善方針」に基づく取組みの推進（勤務時間管理の徹底、業務の適正化・効率化、教職員の健康管理）
- ・運動部活動の在り方に関する検討を促進
- ・教員研修や学校への調査等の見直し（通信型研修等への移行 等）
- ・優れた教職員の確保（教職の魅力発信、教員採用試験等の見直し等）
- など



今後 5 年間に取り組む施策

目指す人間像の実現に向け、8 つの基本的な方針に沿って着実に施策を推進します。

方針 1

学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成

① 確かな学力の育成

主な取組

- 小・中学校における国・県の学力調査の結果を踏まえた授業改善の推進
- 個に応じた学びや協働学習など、ICT を活用したわかりやすい授業の推進
- タブレット端末の整備と先進的な活用方法を学ぶ実践研修の実施
- 少人数学級や習熟度別指導など、きめ細かな指導の充実
- 工業高校生による小学生を対象としたプログラミング教室の実施
- 「ふくい理数グランプリ」等による理数教育の推進
- 高校における大学教員を招いた探究活動や学ぶ楽しさを伝える学問発見講座の実施



ICT を活用した授業



大学教員による講座

② 魅力ある県立学校づくりの推進

主な取組

- 学校の実態に応じて授業時数を見直し、地域連携活動等の取組みを推進
- 自ら課題を設定し、国内外の高校生と共に探究する授業や教科横断型の授業の導入
- 少人数指導や夜間自習室の整備など、自学自習環境の充実



各高校の授業力向上リーダー研修会



市町幼児教育アドバイザー養成研修

③ 幼児教育の推進

主な取組

- 市町幼児教育アドバイザーや園内リーダーの養成・支援
- 県幼児教育アドバイザーの園訪問により、園内研修・人材育成を支援
- 接続カリキュラムの活用等による幼小接続の推進
- 家庭教育アドバイザーによる保護者を対象とした出前講座の実施



弦楽コンサート

方針 2

適性や興味関心に応じた文化芸術、スポーツ活動の促進

① 文化芸術活動の充実

主な取組

- 演奏家や芸術家等を派遣し、授業や文化部活動を充実
- 楽器の購入や合同練習会の実施など、吹奏楽部の活動を支援
- 小・中・高校の弦楽奏者に対する技術指導や成果発表の機会の提供
- 県立音楽堂での公演の鑑賞など、優れた文化芸術に触れる機会の拡充



競技体験会・スポーツ能力測定会

② トップアスリートの養成

主な取組

- スポーツ能力測定会や競技体験会の開催による有望選手の発掘
- トップアスリートを目指す子どもを対象とした育成プログラムの提供
- 中学生県選抜チームで活躍するジュニア選手の練習会や遠征等の支援
- 有望選手を「チームふくい」強化指定選手に認定し、実践練習等による強化を推進
- 運動部活動における公認スポーツ指導者や国体成年選手の活用を拡大



方針 3

豊かな心、健やかな体の育成

①お互いを尊重し豊かな心を育む教育の推進

- 主な取組
- 親子で学ぶ道徳講座など、家庭や地域と連携した道徳教育の充実
 - 人権教育に関する研修等の充実や、様々な人権課題に対応した教育の推進
 - 子どもが多様な価値観や考え方を尊重し合えるよう、指導方法を工夫・改善
 - 「福井県こども読書活動推進計画」に基づく取組みの推進
 - ・ペア読書やビブリオバトルなど、読書の感想を共有する取組みの推進
 - ・ジュニア司書の養成や、成長段階に応じた推奨図書の選定 など



親子で学ぶ道徳講座

②たくましく健やかな体を育む教育の推進

- 主な取組
- 楽しんで運動できるよう、I C T活用や話し合い活動等による体育の授業改善を推進
 - 体力・運動能力調査の結果を踏まえた体力向上の取組みの推進
 - 市町教育委員会や中・高体連と連携し、運動部活動の在り方を検討
 - 独自教材の活用や学校給食調理コンテストの開催など、食育の推進



学校給食調理コンテスト

方針 4

国際的な視野に立ち、自らの考えを発信する力の育成

①グローバル化に対応した教育の推進

- 主な取組
- 給付型奨学金の充実等による海外留学の促進
 - 福井に居ながら海外の大学生と交流するグローバルキャンプの実施
 - 外国人への観光ガイドなど、福井を発信する取組みの推進
 - 小学校での教科担任制の導入や外部検定試験の活用など、小・中・高校を通した英語4技能の育成



海外に留学中の高校生

アルメニアの首都エレバンにて校外学習

方針 5

特性や心情に配慮し、誰もが安心して学べる教育環境の整備

①特別支援教育の推進

- 主な取組
- 巡回相談による個別の支援計画の活用の促進 ● 特別支援学校と小・中学校等との交流や共同学習を促進
 - 特別支援学校にタブレット端末を整備 ● 農業体験の拡大や新たな技能検定の導入など、キャリア形成を支援
 - 看護職員の配置など、医療的ケア実施体制の構築

②いじめ・不登校対策の充実

- 主な取組
- 授業や学校行事を見直し、魅力ある学校づくりを推進 ● 弁護士を活用した「いじめ予防授業」の実施
 - 不登校高校生に対する支援を行う「自立支援センター」の設置 ● S N S等を活用した相談窓口の開設
 - スクールカウンセラー等の活用による教育相談体制の充実



外国人児童生徒への支援

③外国人児童生徒等に対する教育環境の整備

- 主な取組
- 日本語初期指導員の配置や多言語翻訳機の整備 ● 特別入試枠の設置など、高校進学を支援

④家庭環境や地域に左右されない教育環境の確保

- 主な取組
- 就学にかかる経済的支援等の活用を促進 ● I C Tを活用したへき地・小規模校等の教育の充実



方針 6

ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

①ふるさと教育の推進

- 主な取組
- 学校における自然体験活動や職場体験、ボランティア活動の推進
 - 校外学習や放課後子どもクラブにおいて、嶺南・嶺北間の広域的な学習機会を提供
 - 「ふるさと福井の先人100人」等の郷土に関する教材の活用
 - ふるさと学習の成果や地域の伝統文化を発表する機会の提供



ふるさと学習

②社会や地域を担う人材の育成

- 主な取組
- 「ふるさと先生」による授業や社会人による「キャリア教育セミナー」の実施
 - 普通科系高校の生徒が地元企業や伝統産業の魅力を体験する機会の提供
 - 講演会やアイディアコンテストの開催など、起業家精神を育む教育の推進
 - 教員の民間派遣や地元技術者による授業など、先端技術を学ぶ取組みを支援
 - 「福井フューチャーマイスター制度」等による難関資格取得の促進
 - 主権者教育や消費者教育、SDGsの実現を目指した教育の推進



福井フューチャーマイスタートップ賞表彰

③文化財の保存・継承

- 主な取組
- 文化財出前授業等による文化財を活用した学習の場の提供
 - 文化財の指定・登録等による保護の推進
 - 日本遺産の情報発信やユネスコ無形文化遺産登録の促進

方針 7

生涯にわたる学びの支援

①生涯学習の推進

- 主な取組
- 生涯学習センター（福井ライフ・アカデミー）の講座を嶺南地域で受講できる環境を整備
 - 先進技術や伝統技術等を体験的に学ぶ「ふるさと探究講座」など、県民のニーズに対応した学習機会の提供
 - 「まなびいネットふくい」やSNSを活用した情報提供の充実



福井ライフ・アカデミーの講座

②社会教育の振興

- 主な取組
- 社会教育関係団体が地域活動の魅力を子どもたちに伝える場を設定
 - 市町や県公民館連合会と連携し、公民館活動への若者の取り込みを促進
 - 社会教育士の資格を県内で取得できる機会を提供
 - 高校生や大学生の体験プログラムの企画・運営への参画を促進



ふるさと文学館

③県立図書館等の機能充実

- 主な取組
- デジタルデータを含めた資料の収集・提供や調べ方案内等の充実
 - 郷土資料のデジタル化を進め、高校生の探究学習における活用を促進
 - 福井ゆかりの文学資料の収集・展示、講演会や講座など、文学に親しむ機会の提供
 - 県外文学館の企画展資料を借用した展示等の実施



奥越高原青少年自然の家における体験プログラム



方針 8 新たな時代を見据えた教育環境の整備

①学校における働き方改革の推進

- 主な取組
- 「福井県学校業務改善方針」に基づく取組みの推進
 - ・勤務時間管理の徹底と勤務時間を意識した働き方の推進
 - ・平日の授業時間の削減と夏季休業の短縮を検討
 - ・スクールロイヤーによる法律相談体制の整備
 - ・部活動指導員や学校運営支援員等の外部人材の配置
 - ・学校事務の共同実施や校務支援システムの導入促進
 - ・教員研修や学校に対する調査の内容および回数を精査
 - ・教職員の安全衛生管理の徹底 など



タイムカードの導入

②教職員の資質・能力の向上

- 主な取組
- 大学等での説明会や教員紹介リーフレットの作成など、教職の魅力を発信
 - 採用試験の見直しや教員の再採用等による優れた教職員の確保
 - 集合型研修の一部を通信型研修や遠隔型研修に移行するなど、研修を効率化
 - 知的好奇心を刺激する授業や小学校のクラブ活動を実践する研究活動を支援
 - 地元産業界と連携した教員が県内企業を知るための研究活動を支援



教員志望者セミナー

③地域との連携・協働の推進

- 主な取組
- 「家庭・地域・学校協議会」を活用した家庭や地域との連携による教育活動の充実
 - 地域住民とともに地域の課題を改善する企画提案型の体験学習の推進
 - 登下校の見守りや読み聞かせなど、保護者や地域住民によるボランティア活動の推進
 - 放課後児童クラブや放課後子ども教室の設置・運営を支援



家庭教育の出前講座

④家庭教育支援の充実

- 主な取組
- リーフレットやテレビ番組等を通して家庭教育の重要性を啓発
 - 子どもの意欲を引き出す声掛けなど、PTAによる研修や啓発活動を支援
 - 「家庭教育相談・応援サイト」を活用した情報発信、専門家による相談対応の実施
 - 子育て経験者や退職教員等による訪問支援など、地域の取組みを促進



放課後児童クラブ

⑤安全・安心な学校づくり

- 主な取組
- 県立学校施設の長寿命化改修や空調更新、洋式トイレ設置等を推進
 - 県外から生徒を受け入れる高校において寮の整備等を検討
 - 通学路の安全対策や交通安全教室など、登下校時の安全を確保
 - 地域の防災士等を活用した避難訓練など、防災教育の推進



避難訓練



防災士による防災教育



福井県の教育の現状

◆ 子どもの学力の状況(平均正答率)

	小学6年生		中学3年生		
	国語	算数	国語	数学	英語
福井県	72	69	77	66	59
全 国	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0

(出典) 文部科学省「平成31年度全国学力・学習状況調査」

全国
トップクラス
の学力

全国
トップクラス
の体力

◆ 子どもの体力の状況(体力合計点)

	小学5年生		中学2年生	
	男子	女子	男子	女子
福井県	57.01	59.33	44.67	54.28
全 国	53.61	55.59	41.69	50.22

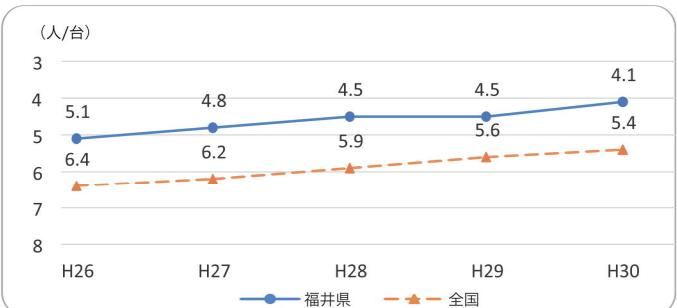
(出典) 文部科学省「平成31年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

◆ 児童生徒数の推移



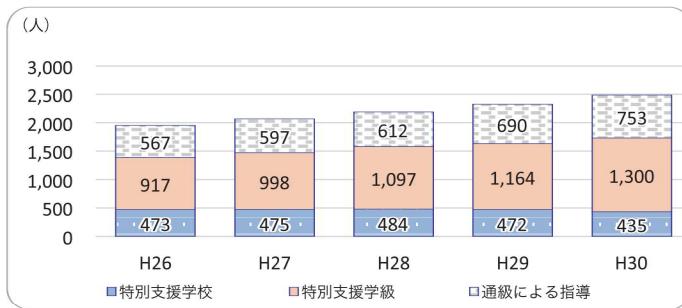
(出典) 文部科学省「学校基本調査」

◆ 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数



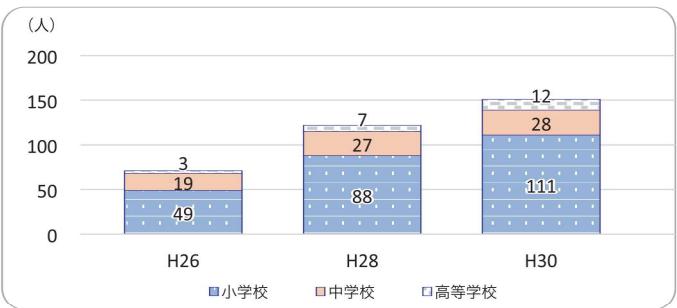
(出典) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

◆ 特別支援教育の対象児童生徒数



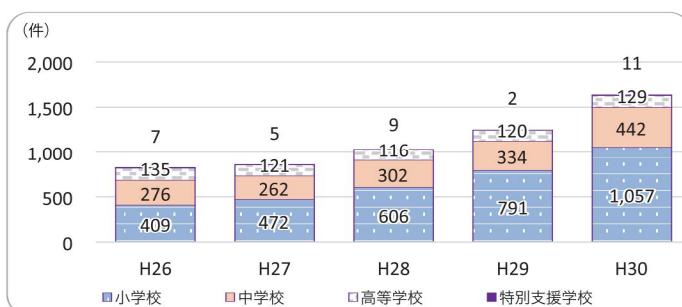
(出典) 文部科学省「学校基本調査」

◆ 日本語指導が必要な外国人児童生徒の数



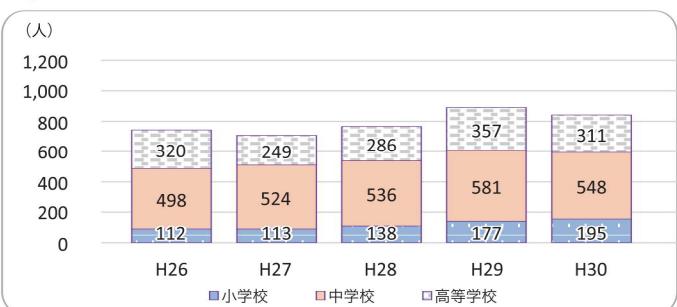
(出典) 文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受け入れ状況等に関する調査」

◆ 公立学校のいじめ認知件数



(出典) 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

◆ 公立学校の不登校児童生徒数



(出典) 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

お問い合わせ

福井県教育庁教育政策課
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL (0776) 20-0557 FAX (0776) 20-0668

福井県ホームページに、
教育振興基本計画に関する
情報が掲載されています。
ぜひご覧ください。



令和2年4月作成